

「ふるさと環境フェア」の概要

当協議会では、展示や体験を通して、県民に福井の環境を守り育てることの大切さを考えてもらう機会を提供するため、企業・団体のみな様の協力を得て、ふるさと環境フェア（以下「環境フェア」という）を、平成21年度から開催しています。10回目となる今回は、令和5年11月23日（木・祝）に福井県産業会館において、「未来につなげるふくい環境（わ）〜取り組みもうSDGs！目指そうカーボンニュートラル〜」をテーマに開催し、当日は約4千人の方に来場いただきました。



フェアチラシ

テーマに込めた思い

地球温暖化に対する関心が世界中で高まる中、県でも2050年のカーボンニュートラルの実現を目指し、様々な政策に取り組んでいます。地球温暖化に起因する気候変動は、豪雨や熱中症の増加など、様々な影響を引き起こしており、今後さらに増大することが予測されます。しかしながら、これらの問題は、社会経済システムや人々の生活様式に密接に関わっており、複雑化しているため、解決には私たち一人ひとりの行動を変えていく必要があります。

そこで、今回の環境フェアでは、SDGsを糸口に、環境への負荷が少ない「持続可能な社会の構築」という視点から「環境」を捉え直し、県民自らの自主的な行動を促すことをテーマにし、様々な企画を実施しました。その一環として、会場内キッチンカーでは紙製食器で食事を提供し、使用後は回収してトイレットペーパー等として再生する取り組みを行いました。



ふるさと環境フェアテーマ
(高志高校書道部 揮毫)



紙製食器を再生した
トイレットペーパー

実施内容

① 出展ブース

SDGsやカーボンニュートラル、循環社会などをテーマに、合計33の体験・展示ブースを設けました。FCV（燃料電池自動車）やEV（電気自動車）の展示コーナーでは、新型車両や電動バギーの体験を実施したほか、EVからの充電システムを活用して子ども向けバギーに給電するなど、EVの活用方法についてもPRしました。また、カーボンニュートラル緑日コーナーや木望のゆうえんちコーナーでは、子どもたちが楽しみながら環境保全について学習しました。

② ステージイベント

会場のメインステージでは、観客参加型のクイズや県の省エネ推進事業の紹介、ゲストによる講演など、多くのイベントを行いました。ここでは、そのいくつかについて紹介します。

① オープニングイベント

オープニングでは、驚頭副知事、林環境ふくい推進協議会長のあいさつの後、令和6年3月16日の北陸新幹線福井・敦賀開業を前に、キッズダンサーと県のマスコットキャラクターはぴりゆうが新幹線ウェルカムダンスを披露してくれました。可愛らしくもキレのあるダンスは、新幹線開業に伴う未来への期待感や若い世代の躍動が感じられました。



木望のゆうえんち



EVの展示



デコ活ふくい普及ブース



カーボンニュートラル縁日



食べきり運動
啓発ダンスショー



デコ活ふくいの紹介

②食べきり運動啓発ダンスショー
福井県連合婦人会のみなさんに、県が実施している「おいしいふくい食べきり運動」を推進するため、親しみやすいダンスショーを披露していただきました。食材をモチーフとした独創的な衣装で観客の目を楽しませ、食べものを残さず食べきる事に対する明るいイメージの展開に貢献していただきました。

③デコ活ふくいの紹介
県内の省エネ活動を推進するため、福井テレビ桑原達秋氏の進行で、身近な省エネ行動を呼びかける、「デコ活ふくい」の紹介を行いました。来場者に、地球温暖化の現状や課題・対応方法などをクイズ方式で問いかけたほか、省エネ家電購入促進事業などの家庭で活用できる県の施策を紹介しました。



林会長あいさつ



新幹線ウェルカムダンス

⑥SDGsシンガーソングライター野吾奈穂子氏講演
本講演は「ふくいまるごと環境学び舎事業」の一環として行われました（p. 6参照）。

⑦中高生部活動Live!!
フェアを盛り上げるために、明道中学校合唱部、藤島高校ジャグリング部、高志高校書道部のみなさんが駆けつけてくれました。いずれの演目も見応えのあるものばかりで、観客席の皆さんも手拍子を打ちながら楽しんでる様子でした。



環境活動事例動画



エコ紙マンと
紙リサイクル教室

④環境活動事例動画
協議会の環境ふくい未来創造事業で助成を行っている環境保全団体の活動内容を紹介する動画を上映しました（団体名はp. 4参照）。動画では、あわら市にある湿地の保全や池田町での森林あそび等、協議会の助成金を活用した取り組みの様子が伝えられました。

⑤エコ紙マンと紙リサイクル教室
エコ紙マンと博士（株式会社増田喜）がステージに登場し、観客席の子ども達がクイズに参加しながら楽しくリサイクルについて学びました。

なお、前述の紙製食器の再生に際しては、株式会社増田喜様にご協力いただきました。

地球温暖化をはじめとする諸問題の解決には、規模が大きい企業や団体等だけが取り組むだけではなく、地球上に暮らす一人ひとりが当事者である意識し、実際に行動することが重要です。個人ができることには確かに限りがありますが、実際に取り組んだ分だけ確実に前進し、取り組む人が多くなれば社会のシステムを変容させるきっかけになると考えています。

このため、当協議会では、実際に手で触れて体験したり実感する機会を提供するため、今後もふるさと環境フェアを継続してまいります。

これからの環境フェアが目指すもの



高志高校書道部



木村尚氏 講演

⑧海洋環境専門家 木村尚氏 講演
NPO法人海辺づくり研究会理事の木村尚氏をお招きし、海のCO₂吸収源であるブルーカーボンについてご講演いただきました。講演では、アマモ場の再生と子どもから大人まで巻き込んだ環境教育などの具体的な事例を交え、海に親しむことが全ての自然の豊かさに繋がることをご説明いただきました。海との結びつきが強い本県においても非常に共感できる内容でした。